

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【仲町小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的には良好な結果となり、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができた。一方、個人差もあることから、ICTを活用した学びや家庭との連携・協力を進めるなど個別に必要な支援を実施していく必要がある。昨年度の課題であった理科の「地球」を柱とする領域については、課題であることを教職員で共有し改善できたことから、引き続き学校全体で取り組んでいく。
思考・判断・表現	全体的には良好な結果となり、思考・判断・表現の一定の定着を図ることができた。一方、個人差もあることから、個別に必要な支援を実施していく必要がある。また、ICTを活用した学びを継続していく。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に向けた授業改善に取り組んでいく。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は、5年生で約94%、6年生で約90%であったことから良好な結果と判断する。ただし、「国語の勉強は好きですか」の肯定的な回答が全学年で70%台であり、同じく「算数」が4年で67%、「社会」が4年で74%、「理科」が6年で70%であり、「個別最適な学び」を念頭に、引き続き授業改善に取り組んでいく。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語・算数の「知識・技能」領域において、R4年度の自校結果より市平均値との差を向上させる。	⇒ 「ドリルパーク」や「スタディサプリ」、漢字及び計算ドリルを授業、家庭学習で活用し、漢字や計算等、基本的な知識・技能の習熟を図る。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の国語・算数の「思考・判断・表現」領域において、R4年度の自校結果より市平均値との差を向上させる。	⇒ タブレット端末やプロジェクター、デジタル教科書等ICT機器を授業の道具として利用し、「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」に取り組み、思考力、判断力、表現力の向上を図る。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒ 児童一人ひとりが問題意識をもち、課題解決のための見通しを立て、必要な情報を収集、活用、整理していく問題解決型の学習を意識した授業の展開に取り組む。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語・算数の「知識・技能」領域において、R4年度の自校結果より市平均値との差は、国語、算数ともに中学年はやや小さくなり、高学年ではやや向上した。	B
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の国語・算数の「思考・判断・表現」領域において、R4年度の自校結果より市平均値との差は、国語、算数ともに3、4、6年生はやや小さくなり、5年生では向上した。	B
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は、5年生で約94%、6年生で約90%であった	B

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、全国や市の平均と自校結果とを比較すると、国語、算数ともに良好な結果となった。しかし、算数では、百分率で表された割合についての理解や、三角形の性質についての理解にやや課題がみられた。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、全国や市の平均と自校結果とを比較すると、国語、算数ともに良好な結果となった。しかし、国語も算数も、問題中で与えられた図や表、言葉、数を使って自分の考えが伝わるように記述する問題に課題がみられた。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の肯定的な回答の割合は93%であった。一方、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の肯定的な回答の割合は77%で、もう一歩であった。思考・判断・表現に関する記述問題でみられた課題に関連しており、今後一層の授業改善に努める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。			
小3	市の平均と比較し、国語、算数ともに良好な結果となった。全体としては良好な結果ではあるが、特に国語の「我が国の言語文化に関する事項」において学習内容の定着ができていない部分が見られた。生活習慣に関する調査では、基本的な生活習慣がよく身に付いているようである。	小4	市の平均と比較し、国語、算数ともに良好な結果となった。全体としては良好な結果ではあるが、学習内容の定着がもう一歩の児童もいた。生活習慣に関する調査では、基本的な生活習慣がよく身に付いているようである。
小5	市の平均と比較し、国語、算数、社会、理科ともに良好な結果となった。全体としては良好な結果ではあるが、学習内容の定着がもう一歩の児童もいた。生活習慣に関する調査では、基本的な生活習慣がよく身に付いているようである。	小6	市の平均と比較し、国語、算数、社会、理科ともに良好な結果となった。全体としては良好な結果ではあるが、学習内容の定着がもう一歩の児童もいた。昨年度に課題が見られた理科の「地球」を柱とする領域は、良好な結果へ改善した。生活習慣に関する調査では、基本的な生活習慣がよく身に付いているようである。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし